

「農業者との意見交換会に向けて」

(京都府亀岡市第2ブロック地区連絡会議)(第10回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年11月9日(土)午後8時～
- 場 所: 曾我部町公民館
- 出席者: 農業委員3人、最適化推進委員5人
営農組合役員6人
- 報告者: 森田一三 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 曾我部町は平坦地であり、一部を除き国営土地改良事業実施中。土地改良後の営農が課題
- 東・西別院町は山間地に位置し、獣害も多発する。担い手・後継者も少なく厳しい農業環境
- 西別院地内で「機構関連」事業の実施要望地区あり。

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 地域農業のリーダーとして日頃感じておられることなど意見交換を。(長沢ブロック長)
- 地域の農業労働力として「女性」の活躍を。地域で「女性」が集うことが無くなった。
- 年度によって、地区の営農組合長の取り組みの姿勢によって、活動が大きく変わる。
- 別院では、荒廃地が増えている。後継者もない。農家の息子が農業をしない。
- 地域営農組織も高齢化が進み、後継者の確保ができない。法人化が全てを解決するものではない。
- 地域では草刈りもできない世帯が増えている。農業に魅了を感じない若者が増えている。
- 残すべき農地の選択も必要。

4 活動結果

- 情報・意見交換 **2.5** 時間
- 担い手への集積 **a** 増加
- 遊休農地面積 **a** 解消
- 新規就農者 **人** 支援